


様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

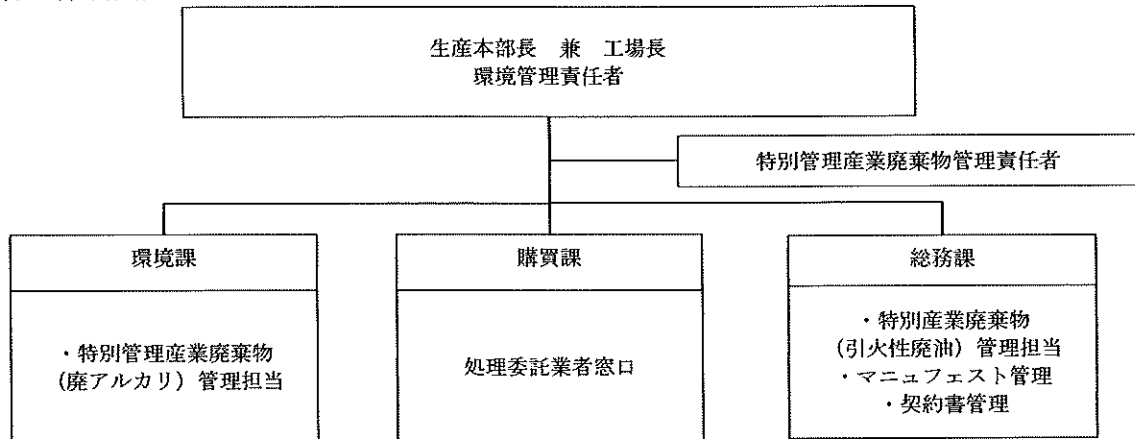
(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 2 / 日	
茨城県知事 大井川 和彦 殿	
	提出者 住所 茨城県笠間市吉岡154 氏名 板橋精機株式会社 生産本部長 平野 芳徳 電話番号 0299-45-3131
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	板橋精機株式会社 岩間工場
事業場の所在地	茨城県笠間市吉岡154
計画期間	令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業
②事業の規模	4,433百万円
③従業員数	99名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・廃油（引火性）＝ 印刷工程の払拭用シンナー<ul style="list-style-type: none">→ 中間処理業者に処理委託 → 油水分離後再生燃料化→ 残渣はセメント原料として再資源化・廃アルカリ ＝ 回路形成工程現像液等<ul style="list-style-type: none">→ 中間処理業者に処理委託 → 中和剤として再利用→ 残渣は製鉄原料として再資源化

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和5 年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃酸
	排 出 量	3 t	70 t	1 t
	(これまでに実施した取組) ・ 使用量の低減 ・ 廃酸の業者委託量0kg達成 ・ 不良率改善による再仕掛分排出量の低減 ・ 薬液更新頻度見直しによる排出量の低減 ・ 中和剤としての使用 ・ 薬液変更に伴うpH値変更による排出量の低減			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	
	排 出 量	2 t	80 t	
	(今後実施する予定の取組) ・ 廃酸の業者委託量0kgの継続。 ・ 不良率改善による再仕掛分排出量の低減 ・ 薬液補充・更新頻度見直しによる排出量の低減 ・ 中和剤としての使用			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 液質・特性に合わせ適正な分別をするとともに、専用の保管場所を設け、確実に保管・管理している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 適正な分別、保管・管理を継続するとともに、 廃アルカリの詳細分析を行い、別処理可能か検討する。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t	
	(これまでに実施した取組) —			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t	
	(今後実施する予定の取組) —			
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ	廃酸
	全処理委託量	3 t	70 t	1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	70 t	1 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約締結、処分場の現地確認等の委託基準に基づき、委託可能業者を選定している。 ・ 可能な限り優良認定処理業者を優先して選定している。 ・ 最終処分が再生利用となるルートを優先的に選定している。 			

(第5面)

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ
	全 処 理 委 託 量	2 t	80 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	80 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
・ 委託した処理場等の現地確認を定期的に実施する。 ・ 可能な限り優良認定処理業者を優先して選定する。 ・ 最終処分がより有効な再生利用となるよう委託ルートの 検討を行う。			
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（ 令和5 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	74 t	
	(今後実施する予定の取組等)		
令和2年4月1日より、現状処理委託している全ての業者・種類 について、電子情報処理組織を使用している。			
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。